

レベル	科目名	担当者 (ふりがな)	曜日・時限	教室	目標	内容	テキスト	成績評価法
4	日本語4総合(文法) A1-4	今井 美登里(いまい みどり)火1・2 宮本 典以子(みやもと ていこ)金1・2	火曜1・2限 金曜1・2限	N310	初級後半の文法項目(こうもく)を習得(しゅうとく)する。	テキストを使って初級後半の語彙(ごい)や文法項目(ぶんぽうこうもく)を理解(りかい)し、使うことができるように練習(れんしゅう)します。	『できる日本語 初中級 本冊 第2版』(アルク)、 『できる日本語 わたしの文法ノート 初中級 第2版』(アルク)	授業活動(じゅぎょうかつどう)への参加度(さんかど)40%、 宿題(しゅくだい)10%、 テスト・クイズ50%
	日本語4漢字A	鈴木 美恵子(すずき みえこ)	木曜・2限	N310	基本(きほん)漢字300~400を学ぶ。	漢字(かんじ)の読(よ)みと書(か)きと意味(いみ)の練習(れんしゅう)をします。1回(かい)に1課(か)勉強(べんきょう)します。毎回(まいかい)、小(しょう)テストをします。	『(新版) BASIC KANJI BOOK —基本漢字500— VOL.2(第2版)』凡人社	授業参加度(じゅぎょうさんかど)30%、 小テスト30%、 中間(ちゅうかん)テスト・期末(きまつ)テスト40%
	日本語4聴解A	江口典子(えぐちのりこ)	月曜・2限	N310	日常(にちじょう)の短い会話(かいわ)や説明(せつめい)が聞けるようになる。	いろいろな場面(ばめん)での表現(ひょうげん)や日常会話(にちじょうかいわ)が聞き取れる(ききとれる)ような練習(れんしゅう)をします。毎回(まいかい)、前回(ぜんかい)の授業(じゅぎょう)で聞(き)いた表現(ひょうげん)についてミニクイズを行(おこな)います。	プリントをくばります。	授業参加度(じゅぎょうさんかど)30%、 課題(かだい)40%、 小(しょう)テスト・期末(きまつ)テスト30%
	日本語4会話A	荒井 直美(あらい なおみ)	水曜・1限	N310	日常(にちじょう)の会話(かいわ)コミュニケーションができるようになる。	勉強(べんきょう)した言葉(ことば)や文型(ぶんけい)を使(つか)って、いろいろな場面(ばめん)の会話(かいわ)を練習(れんしゅう)します。	プリントをくばります。	授業参加度(出席(しゅっせき)・授業態度(じゅぎょうたいど))50%、 宿題(しゅくだい)・会話(かいわ)練習(れんしゅう)の取り組み(とりくみ)50%
	日本語4講読A	江口典子(えぐちのりこ)	月曜・1限	N310	日常的(にちじょうてき)で長くない文章(ぶんしょう)が読めるようになる。	説明文(せつめいぶん)、物語(ものがたり)、インタビューなど様々(さまざま)な文章(ぶんしょう)を読(よ)みます。語彙力(ごいりょく)を増(ふ)やします。	プリントをくばります。	授業参加度(じゅぎょうさんかど)30%、 課題(かだい)40%、 小(しょう)テスト・期末(きまつ)テスト30%
	日本語4作文A	小西 円(こにし まどか)	水曜・2限	N310	ある程度(ちゆうど)まとまりのある文章(ぶんしょう)が書けるようになる。	メインテキストの中(なか)の「話読聞書(わつどんぶん)」を使(つか)って作文(さくぶん)を書(か)きます。また、日常的(にちじょうてき)なことをテーマ(てま)にして書(か)きます。言葉(ことば)や文法(ぶんぽう)も勉強(べんきょう)しながら作文(さくぶん)を書(か)きます。簡単(かんたん)な文(ぶん)から少(すこ)し長(なが)い文(ぶん)や文章(ぶんしょう)を書(か)きます。文章(ぶんしょう)の構成(こうせい)も大切(たいせつ)にします。	『できる日本語 初中級 本冊 第2版』(アルク)、 プリントをくばります。	授業参加度(じゅぎょうさんかど)30%、 小(しょう)テスト・課題(かだい)70%